

えいようかつうしん



令和 3 年 冬号

寒い日が続いています。みなさん、いかがお過ごしでしょうか？新型コロナウイルスの影響により、いつもの年末年始ではなく新しい形のお正月を迎えられた方が多いのではないのでしょうか？

今回は、なぜだか福岡市だけで増加している！？“ノロウイルス”と、お正月の“おせち料理”についてお話をしていきたいと思います。

ノロウイルスについて

1 年を通して発生していますが、特に 11 月上旬～1 月に流行する感染症「ノロウイルス」をご存じですか？ノロウイルスは感染力が強く、非常に少ないウイルス量でも感染するウイルスです。主にひとの手指や食品などを介し経口で感染し、ヒトの腸管で増殖します。アルコール消毒では効果が弱く、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系の消毒剤や家庭用塩酸系漂白剤）での十分な消毒が推奨されています。

潜伏期間：24～48 時間

主症状：下痢、嘔吐、吐き気、腹痛、発熱は軽度

感染予防・食中毒予防のポイント：

- ・十分な手洗い
小さい菌のため手のしわなどに残る事がある
- ・食品の十分な加熱
ノロウイルスの場合は食品の中心温度が 85℃から 90℃で 90 秒以上
（通常は食品の中心温度が 75℃1 分以上になること）
- ・調理器具の洗浄、消毒の徹底
- ・嘔吐物の適切な処理



などがあげられます

☆健康な方は軽症で回復しますが、子どもやお年寄りの方などでは重症化する可能性があります。また、過去に一度ノロウイルスに感染しても免疫がつかず、何度も感染することもあります。

おせち料理について



お正月に食べるおせち料理にはいろいろな意味が込められていますがご存知でしょうか？今回はみなさんがお正月に食べたおせち料理自体に込められた意味、食材や料理にこめられた意味をご紹介します。

●数の子●



ニシンの卵。「二親」（ニシン）から多くの子がでると言い、子孫繁栄を祈る
また、夫婦仲円満の願いも含まれている

●栗きんとん●

黄金色に輝く色から豊かに一年を願う



●黒豆●

豆は本来、丈夫・健康を意味する言葉で、まめに働くとも言われる



●昆布巻き●

「喜ぶ」の言葉にかけて、縁起ものとされている。
また、「子生」ともかいて子孫繁栄の願いをこめることもある



●エビ●

ひげを長く伸ばし、腰が曲がるまでの長生きを願いが込められている



●筑前煮●

穴にちなんで将来の見通しがきくとされている「蓮根」、
小芋をたくさんつけることから、子孫繁栄の縁起ものとされている「里芋」
その他、土の中で根を張る「根菜」を用い末永く幸せを祈願する意味がある。



みなさまの一年が幸せでありますように、(^。^)/
今年も患者様・利用者様によりこんで頂けるような食事を提供していきたく考えています。よろしくお願いします☆